

2026年4月吉日

病院長、施設長 様

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会
会長 木川 幸一
第69回北海道医療ソーシャルワーク学会
学会長 長尾 明香

第69回北海道医療ソーシャルワーク学会の参加のご案内

謹啓

陽春の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より当協会の活動につきまして、深いご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当協会におきまして、2026年6月27日(土)、28日(日)の両日、下記の通り、
『第69回北海道医療ソーシャルワーク学会』を旭川市にて開催する運びとなりました。

本学会は、北海道内の医療機関等に所属するソーシャルワーカーが一堂に会し、日頃の研究
と実践活動の成果を発表し研鑽する場として、当協会の定期総会と合わせて、皆さまのご協力を
賜りながら開催させていただいております。

つきましては、ご多忙とは存じますが、貴施設所属の当協会員の出席につきまして格別のご
配慮を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

記

日 程 2026年6月27日(土)～28日(日)
会 場 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場
旭川市神楽3条7丁目
内 容 1日目 定期総会、基調講演、演題発表
2日目 体験参加型・自主企画、教育講演
詳細は別紙開催要項・プログラムをご参照ください。

以上

お問い合わせ先
第69回北海道医療ソーシャルワーク学会 事務局
独立行政法人国立病院機構旭川医療センター
旭川市花咲町7丁目4048番地
地域医療連携室 医療相談係長 長尾 明香
Tel:0166-51-3161
nagao.haruka.bs@mail.hosp.go.jp

2026年4月吉日

会 員 各 位

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

会長 木川 幸一

第69回北海道医療ソーシャルワーク学会

学会長 長尾 明香

第69回北海道医療ソーシャルワーク学会の参加のご案内

謹啓

陽春の候、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件について、下記の通り、第69回北海道医療ソーシャルワーク学会ならびに定期総会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、皆様多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

日 程 2026年6月27日(土)～28(日)
会 場 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場
旭川市神楽3条7丁目
内 容 1日目 定期総会、基調講演、演題発表
2日目 体験参加型・自主企画、教育講演
詳細は別紙開催要項・プログラムをご参照ください。

以上

お問い合わせ先

第69回北海道医療ソーシャルワーク学会 事務局

独立行政法人国立病院機構旭川医療センター

旭川市花咲町7丁目4048番地

地域医療連携室 医療相談係長 長尾 明香

Tel:0166-51-3161

nagao.haruka.bs@mail.hosp.go.jp

第69回 北海道医療ソーシャルワーク学会

開催要項

◇学会テーマ

ソーシャルワークの原点と魅力 ～ソーシャルワーカーの実践にある希望と力～

◇学会趣旨

私たちを取り巻く環境や社会情勢は常に変化しており、いつの時代も「激動の時代」と言われてきました。ソーシャルワーカーには、そうした変化に柔軟に対応しながら、成長を続けていくことが求められています。

また、私たちは、多様で複雑化した課題を抱えるクライアントやそのご家族と向き合い、身体・知識・感性を総動員して支援を行っています。時には、専門性の枠を超えた実践や、新たなものを創造する力が求められる場面もあります。ソーシャルワーカーの実践や技術は、一種の職人技とも言われますが、同時に、普遍的な共通価値を土台に新しいものを創り出すクリエイターでもあります。ソーシャルワーカーだからこそ、できることがあるのではないのでしょうか。

ソーシャルワーカーはクライアントとの一対一の関係にとどまらず、組織や地域の中でも欠かせない存在です。そこには多くの可能性と大切な価値があり、私たちの関わり方や働き方次第で、その先の結果が大きく変わる。そうした可能性と責任を私たちは背負っています。

医療や福祉の現場では、人材の不足や組織形態の多様化、効率重視、働き方改革が進む中で、個人のライフスタイルや働く環境、価値観も変化しています。そのような状況の中で、「ソーシャルワークのあり方」に揺らぎを感じたり、将来への不安や違和感、もやもやした思いを抱えている方も少なくないと思います。

本学会では、ソーシャルワーク実践の原点と魅力に立ち返り、これからのソーシャルワーカーのあり方、働き方、生き方について、多様な視点や分野から共に考え、一人ひとりが希望を紡ぐ場となる学会にしたいと考えています。

主 催 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会
開催主管 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 北支部
日 程 2026年6月27日(土)~28日(日)
会 場 大雪クリスタルホール(旭川市国際会議場)
〒070-8003 北海道旭川市神楽3条7丁目1-45
TEL: 0166-69-2000

学会長 長尾 明香(独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター)

学会プログラム

■6月27日(土) 1日目

9:30～ 学会受付および総会受付開始およびポスター演題掲示開始

10:30～12:00 一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 定期総会

13:00～13:30 開会式

学会長講演

13:30～14:40 基調講演 座長:榊原 次郎 (名寄市立大学)

演題:医療ソーシャルワークの本質と未来の医療戦略

～いのち、生活、倫理、制度の文脈から～

講師:高橋 学 氏 (昭和女子大学人間社会学部 福祉社会学科 福祉社会・経営研究科 福祉共創マネジメント専攻 生活機構研究科 福祉社会研究専攻 特任教授)

14:50～15:05 ポスター(質疑応答)

「身寄りのない患者」への援助課題～医療ソーシャルワーカーの援助構造を中心に～

西川 聖子(札幌北楡病院)

15:15～16:55 演題発表(口頭)

会場①:大会議室 座長:山田 純一氏(ぴりかれら行政書士・社会福祉士事務所)

①身寄りのない患者に関する旭川市内医療ソーシャルワーカーの対応実態と課題について

武藤 大樹(東旭川病院)

②旭川市内の介護保険施設における身寄りがない方の受け入れに関する実態調査

辻榮 孝枝(道北勤医協一条通病院)

③病院と地域のリアルを繋ぐー地域から考える、退院支援におけるリスクマネジメントー

黒澤 智尚(小規模多機能ホームゆかい西野)

④行政との連携により実現した高次脳機能障害支援者養成研修の報告と考察

玉川 侑那(北海道大学病院)

⑤「にも包括」推進に向けた地域実践

山村 哲(医療法人立青会なるかわ病院)

⑥共有意思決定支援の面接技術向上を目指した pSDM の開発と実践報告

横田 法律(社会医療法人恵和会 西岡病院)

⑦会員サポート事業の現状と今後の展望～中央 B 支部の活動報告～

吉野 夕香(北海道医療大学病院)

会場②:第 2・第 3 会議室(連結会場)

座長:松尾 昂氏(国立大学法人旭川医科大学病院)

①心不全増悪因子に着目した MSW のアセスメント～傷病の状況に応じた退院援助の実践～

坂根 広太(社会福祉法人北海道社会事業協会帯広病院)

②MCI 患者の意向に寄り添えない要因に対するジレンマ

米山 麻衣(イムス札幌消化器中央総合病院)

③A 病院におけるがんの治療による外見の変化とケアに関する意識調査

定岡 七菜(北海道がんセンター患者総合支援センター)

④特定妊婦スクリーニングにおける医療ソーシャルワーカー関与の有用性

山本 亮(社会医療法人母恋日鋼記念病院)

⑤当院における養育支援の実態

辻丸 栞(手稲溪仁会病院)

⑥医療保護入院更新手続きにおけるソーシャルワーカーの業務課題と実践的意義

出田 亜弥佳(医療法人社団大蔵会札幌佐藤病院)

⑦新卒 MSW が現場適応するための教育プログラムの構築

橋本 恭尚(医療法人 尚仁会 真栄病院)

18:30～20:30 懇親会

■6月28日(日) 2日目

9:00～ 学会受付

9:30～10:30 企画

①ケアカフェ in 旭川学会 会場:レセプション室

②『動機づけ面接(MI)のエッセンスを味わう』 会場:第 1 会議室

クライアントの揺れる気持ちに寄り添う 対人援助職を支えるコミュニケーション

③身寄りがいない患者支援専門部会 令和 8 年度第 1 回セミナー

会場:第 2・3 会議室

実践検討会

10:40～11:50 教育講演

座長:木川 幸一(北海道がんセンター)

演題:現代の疾病対策は「ソーシャル」

:社会的健康規定因子の視点を踏まえたソーシャルワークの再考

講師:西岡大輔 氏(神戸大学大学院医学系研究科 社会健康公正学部門)

11:55～12:25 閉会式